

モモ「はつひめ」および「ふくあかり」の収穫期の判断

福島県農業総合センター果樹研究所栽培科

1 部門名

果樹—モモ—栽培

2 担当者

赤井広子・安達義輝・増子俊明

3 要旨

モモ早生種「はつひめ」および「ふくあかり」について、10℃保存での調査を行ったところ、地色や果肉硬度をもとに収穫時期を判断することで日持ち性を高めることができる。

- (1) 「はつひめ」の 10℃保存における品質は、2015 年、2016 年ともに2日後まで地色(モモ白肉桃カラーチャート、4:緑白、5:白、6:乳白)の抜けおよび硬度(ユニバーサル型硬度計で、円錐型頭針を使用)の低下が大きかったが、それ以降は緩やかとなった。2日後までの硬度低下は 2015 年の方が 2016 年より大きかった。これは、2015 年は「はつひめ」の収穫前 14 日間の積算日照時間が 41 時間と少なく(2016 年は 67 時間)、積算降水量が 81mm と多かった(2016 年は 49mm)ため、日持ち性の低下につながったと考えられる。
- (2) 「ふくあかり」の 10℃保存における品質は、2015 年は2日後まで地色の抜けおよび果肉硬度の低下がみられ、それ以降はともに変化が緩やかとなったが、2016 年は調査期間を通じて地色の抜け、硬度の低下は緩やかであった。
- (3) 成熟程度の異なる収穫果実について、10℃保存における地色および果肉硬度の推移を調査した(データ省略)これまで2年間の結果からは、「はつひめ」の収穫期は地色 4.7~4.8、果肉硬度 2.1~2.2kg 程度、「ふくあかり」の収穫期は地色 4.7~5.0、果肉硬度 2.3kg 程度が適期と考えられる。

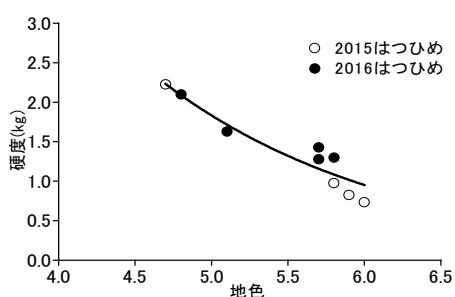


図1 「はつひめ」の地色および果肉硬度の推移(10℃保存)
注)各データ点は、左から2015年は収穫当日、2日後、3日後、4日後、2016年は収穫当日、1日後、2日後、3日後、4日後

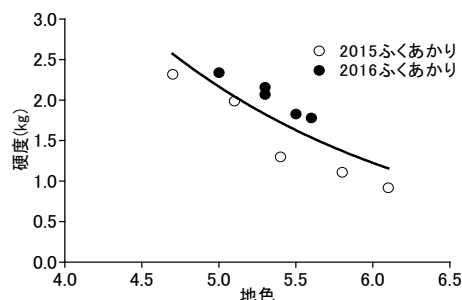


図2 「ふくあかり」の地色および果肉硬度の推移(10℃保存)
注)各データ点は、2015年、2016年ともに左から収穫当日、1日後、2日後、3日後、4日後

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度~28年度
- (2) 研究課題名 県オリジナル果樹品種の安定生産技術確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成27年度参考となる成果 モモ「はつひめ」の高品質果実生産のための収穫時期
- (2) 平成27年度参考となる成果 モモ「ふくあかり」は「暁星」と同時期に収穫され、果実が大きく、日持ち性も良好である